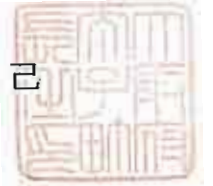




太 建 農 第104号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

大阪府南河内郡
太子町長 浅 野 克 己



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号にて依頼のありました標記について、別紙のとおり回答します。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
活力分野 (1)国際競争力の強化のための交通サービスの向上 (2)地域活力の向上	○南阪奈道路のⅡ期線(4車線)整備の早期事業着手 南阪奈道路は、奈良県中和地域と大阪府南河内地域を結ぶ広域幹線道路であり、近畿自動車道紀勢線と京奈和自動車道を結ぶ、京阪神都市圏の広域的な自動車専用道路ネットワークの一部としてまた、関西国際空港へ至る主要なアクセス道路であるとともに防災上における緊急道路としてその重要な役割を担っています。 現在、トンネル部を含め羽曳野市～葛城市区間が対面通行となっており、太子町区間で平成16年～20年において火災5件、事故42件、救急47件が発生し、消防分署職員の増員並びに救急消防活動が新たな負担となっている状況であることから、本道路に対しても高速道路に準じた支援をお願いするものです。 また、本路線は、1日当たり平均交通量17,527台（羽曳野IC～羽曳野東IC、平成20年4月の1日当たり平均交通量）であり、供用開始時（平成16年4月の1日当たり平均交通量11,475台）に比べて1.5倍に交通量が増加しており、今後においても、ますます交通需要の増加が見込まれます。 以上のように、救急消防活動による新たな負担並びに交通量が増加している状況から、早期の4車線整備の事業着手を要望するものです。	・緊急（救急）時の処理、救急搬送時間短縮等により、早期の対応が期待できる ・災害、事故等の発生時に全面通行止めを回避できる	

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
活力分野 (3)都市交通の快適性、利便性の向上	○南阪奈道路の料金体制の見直しについて 南阪奈道路は平成 16 年 3 月に供用開始されましたが、羽曳野 I C から美原 J C T を通過し松原 J C T の間で、羽曳野 I C から美原 J C T まで（4. 6 km）の料金が 2 0 0 円、阪和自動車道の美原 J C T から松原 J C T まで（4. 5 km）の料金が 5 0 0 円となっていることから、阪和自動車道利用における均一料金 5 0 0 円が利用者にとって割高感があり、連続的な利用に支障となっています。 以上の状況であることから、羽曳野 I C から松原 J C T 間における阪和自動車道の利用料金見直しを要望するものです。	・既存高速ネットワークの効率的な活用が期待できる	
活力分野 (1)国際競争力の強化のための交通サービスの向上 (2)地域活力の向上	○南河内地域高速道路の建設促進について 南河内地域には奈良と大阪を結ぶ東西方向の広域幹線道路として南阪奈道路が整備されましたが、当地域を南北方向に結ぶ高速道路は計画されておらず、高速道路整備の遅れが地域内外の移動・交流を阻害し地域社会の発展を妨げ、過疎の要因ともなっている。高速道路建設が地域振興・経済発展等まちづくりにもたらす効果は計り知れません。 今後、地域一体となり期成同盟を結成するなど事業の促進を図って行きたい。	・地域振興、経済発展、観光ネットワークの形成等に寄与する ・広域的な災害発生時における確実で信頼できる緊急輸送路となる	

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

大阪府太子町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
暮らし・環境分野 (10)良好な景観の形成	○景観法を活用した叡福寺周辺の無電柱化について 景観法を活用し、叡福寺を核とする歴史的景観の整ったまちなみを保全するとともに、まちの雰囲気、景観にふさわしい安全な歩行空間を確保するため、(旧)府道美原太子線を景観計画の中で重要公共施設に指定し、まちなみと調和した無電柱化を促進することとしている。 以上のことから、無電柱化の整備及び生活道路における安全な歩行空間の確保整備を要望するものです。	・通学路における交通安全対策の向上 ・叡福寺周辺の歴史的な景観にふさわしい安全な歩行空間の確保と今後の観光振興が期待できる	